

大沼氏、安保法制で初の質疑

◇山形選挙区選出の大沼瑞穂氏(自民)が25日の参院平和安全法制特別委員会で、委員就任後初めての質疑に立った。

大沼氏は集団的自衛権の限定行使などの論点について、パネルを使いながら



自国の安

ら分かりやすい表現で安倍晋三首相らの見解を尋ねた。写真。

大沼氏は「国内では戦争法案と言われることがあるが、多くの国々が法案に賛意を示している」と与党の立場を強調。「わ

が国周辺の有事に際し、個別的自衛権の行使で自衛隊をどんどん派遣してしまえば、戦前の日本に戻ってしまう。平和を守る

ため、なぜ集団的自衛権の限定行使が必要なのか」とただした。

首相は海外で紛争が発生し、現地から逃れた邦人を移送する米国船が日本近海で攻撃を受けた場合を例に挙げ「わが国が攻撃されていなければ、日本人を自ら助けることはできない。国民の平和な暮らしを守るため、新3要件を満たす場合に限り、集団的自衛権の行使を可能にする必要がある」と歯切れよく答弁した。

記者席ノート